※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	最新高等保健体育 改訂版（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・スクーリングでは運動の特性を理解し、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めるための実技、および講義を行う。
・レポート作成では、スクーリングの内容をしっかり学び、教科書をよく読んで、すべて記入してから提出してください。
・評価はスクーリングでの取り組み状況、レポート提出状況および定期考査により行なう。

２　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 公正・協力・責任・参画などの態度を身につける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させる。	運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身につける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。
評価方法	スクーリングの取り組み状況の観察 取り組みの積極性 レポート 定期考査等	スクーリングの取り組み状況の観察 レポート 定期考査等	スクーリングの取り組み状況の観察 技能習熟度の観察 レポート等	スクーリングの取り組み状況の観察 レポート 定期考査等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	オリエンテーション・体つくり運動	オリエンテーション 集団行動 体つくり運動 体力を高める運動	○			○	a:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 d:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	スクーリングの取り組み状況の観察 取り組みの積極性 レポート 定期考査
	球技	球技 バドミントン 卓球 ソフトボール	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	スクーリングの取り組み状況の観察 技能習熟度の観察 レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。